



# News Release

2021年8月26日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

## 自然災害時にまさかの製品事故！？ ～停電時のCO中毒にも注意！～

### 1. 事故の発生状況

2011年度から2020年度の10年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、災害時に活躍が期待される製品（「携帯発電機」、「カセットこんろ」、「ライター」、「モバイルバッテリー」）の事故は、北海道で合計7件ありました。そのうち、使用者の誤使用・不注意による事故は5件発生しています。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2011～2020年度）

発生年度	合計
2011年	1
2012年	0
2013年	2
2014年	1
2015年	0
2016年	1
2017年	0
2018年	1
2019年	1
2020年	0
合 計	7

## (2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2011～2020年度）※2

被害状況		合計
人的被害	死亡	1
	重傷	1
	軽傷	2
物的被害	拡大被害	1
	製品破損	2
被害なし・不明		0
合計		7

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な事故事例

## (1) カセットこんろ

○2013年10月（北海道、60歳代・男性、使用期間約5か月、軽傷）

事故内容：カセットこんろを点火したところ、大きな炎が上がり、逃げようとした際に肩に軽傷を負った。

事故原因：使用者が、手入れ等の際にヒートパネルを変形させたため、ガスボンベが傾斜している状態で装着されてガバナー装着口に真っ直ぐに入らなかったことにより、ガスが漏れ、ライターで着火したため引火したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「ガス漏れに気づいた時には直ちに使用をやめ容器を外す。また周辺での火の使用を行わない。」旨、記載されている。

## (2) モバイルバッテリー

○2019年8月（北海道、20歳代・男性、使用期間約5年、製品破損）

事故内容：モバイルバッテリーを誤って落下させたところ、焼損する火災が発生した。

事故原因：モバイルバッテリーが満充電で高温の車内に置かれていたため、内蔵されたリチウムポリマー電池が過充電状態となり、膨張した状態のモバイルバッテリーを、使用者が誤って落下させたため、内部短絡し出火したと考えられる。

なお、取扱説明書には、「火やストーブのそば、直射日光下、高温状態の車内など、60℃以上になる場所での使用・充電・保管は絶対にしないで下さい。」

「本体を落下させるなどして内部バッテリーに強い衝撃を与えてしまった場合は、本体を安全な場所に置き少し離れた場所から10分以上観察して下さい。バッテリー内部がショートして発火する可能性があります。」旨、記載されている。

### 3. 災害時に活躍が期待される製品の事故を防ぐポイント

- ① 携帯発電機は、一酸化炭素発生による中毒のおそれが高いため、屋内では絶対に使用せず、屋外の風通しの良い場所で使用する。
- ② カセットこんろにカセットボンベを装着する際は、取扱説明書に従って正しく装着する。
- ③ ライターの使用後は、火が確実に消えていることを確認する。
- ④ モバイルバッテリーを持ち運ぶ際は、衝撃がかからないように注意をする。

### 4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

#### (本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電話: 011-709-2324